

平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年4月24日

上場会社名 協和発酵キリン株式会社

上場取引所 東

コード番号 4151 URL <http://www.kyowa-kirin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 花井 陳雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 諸富 滋 TEL 03-3282-0009
コーポレートコミュニケーション部長

四半期報告書提出予定日 平成26年5月8日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績 (平成26年1月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	86,079	△0.7	12,447	△14.0	12,063	△18.7	6,332	△39.6
25年12月期第1四半期	86,669	△0.5	14,465	△19.8	14,836	△10.5	10,489	23.2

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 3,833百万円 (△77.2%) 25年12月期第1四半期 16,802百万円 (12.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	11.57	11.56
25年12月期第1四半期	19.16	19.15

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	689,961	591,481	85.7
25年12月期	719,257	595,415	82.6

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 591,203百万円 25年12月期 593,957百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	-	12.50	-	12.50	25.00
26年12月期	-	-	-	-	-
26年12月期 (予想)	-	12.50	-	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想 (平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期 (累計) は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	163,000	△4.0	16,000	△41.1	-	-	-	-	-
通期	337,000	△1.1	41,000	△20.8	35,000	△29.3	20,000	△33.5	36.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

当社は、経常利益及び当期純利益については通期のみで連結業績予想を算出していることから、第2四半期 (累計) については、売上高・営業利益の予想のみを開示しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期1Q	576,483,555株	25年12月期	576,483,555株
② 期末自己株式数	26年12月期1Q	29,100,123株	25年12月期	29,143,513株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期1Q	547,345,502株	25年12月期1Q	547,417,916株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成26年1月1日から3月31日までの3か月間）の売上高は860億円（前年同期比0.7%減）、営業利益は124億円（同14.0%減）、経常利益は120億円（同18.7%減）、四半期純利益は63億円（同39.6%減）となりました。

- ◎ 売上高及び営業利益は、花粉飛散量減少等による抗アレルギー剤・抗アレルギー点眼剤の売上減少や技術収入の減少により減収減益となりました。
- ◎ 経常利益は、営業利益の減益のほか、為替差損の計上等があり、四半期純利益は、前年計上した関係会社株式売却益等がなくなった影響もあり、それぞれ減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

医薬事業

① 業績

医薬事業の売上高は、631億円（前年同期比6.3%減）となり、営業利益は94億円（同27.7%減）となりました。

- ◎ 国内の医療用医薬品の売上高は前年同期を下回りました。
 - ・主力品である腎性貧血治療剤「ネスプ」は堅調に推移しており、平成24年12月発売の液量統一品の出荷反動による減少のあった前年同期に比べて、売上高が上回りました。一方、抗アレルギー剤「アレロック」、抗アレルギー点眼剤「パタノール」は花粉飛散量が少なかったことに加えて、「アレロック」についてはジェネリック医薬品の浸透が進んだ影響もあり、売上高が前年同期を下回りました。
 - ・二次性副甲状腺機能亢進症治療剤「レグパラ」、潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール」、パーキンソン病治療剤「ノウリアスト」、癌疼痛治療剤「アブストラル」、経皮吸収型持続性癌疼痛治療剤「フェントス」、慢性特発性血小板減少性紫斑病治療剤「ロミプレート」等は順調に伸長しました。
- ◎ 医薬品の輸出及び技術収入は、輸出が堅調に推移したものの、技術収入の減少により、売上高は減少しました。
- ◎ ProStrakan社は、癌疼痛治療剤「Abstral」等の主力製品が順調に伸長し、売上高は65億円（前年同期比30.3%増）、営業利益（のれん等償却後）は1億円（前年同期は2億円の営業損失）となりました。

② 研究開発

腎カテゴリー

（国内）

- ・カルシウム受容体作動薬「レグパラ」の12.5mg製剤の承認申請を3月に行いました。

（海外）

- ・中国においてカルシウム受容体作動薬Cinacalcet Hydrochloride（日本製品名「レグパラ」）を承認申請中です（平成23年10月申請）。

がんカテゴリー

（国内）

- ・「レグパラ」の副甲状腺癌における高カルシウム血症、副甲状腺摘出術不能又は術後再発の原発性副甲状腺機能亢進症における高カルシウム血症の効能・効果及び用法・用量追加の承認を2月に取得しました。
- ・抗CCR4ヒト化抗体「ポテリジオ」の再発又は難治性のCCR4陽性の末梢性T細胞リンパ腫並びに皮膚T細胞性リンパ腫の効能・効果及び用法・用量追加の承認を3月に取得しました。
- ・腎性貧血治療剤「ネスプ」の骨髄異形成症候群に伴う貧血を対象とした承認申請を3月に行いました。
- ・「ポテリジオ」の初発未治療のCCR4陽性の成人T細胞白血病リンパ腫の承認申請を2月に一旦取り下げました。
- ・持続型G-CSF製剤KR N125のがん化学療法による発熱性好中球減少症を対象とした承認を申請中です（平成25年6月申請）。
- ・ARQ 197のソラフェニブ治療歴を有するc-Met高発現の切除不能肝細胞癌を対象とした第Ⅲ相臨床試験を2月に開始しました。

免疫・アレルギーカテゴリー

（国内）

- ・抗IL-5受容体ヒト化抗体KHK4563は、ライセンス導出先であるアストラゼネカ社が平成25年10月に開始した喘息を対象とした第Ⅲ相国際共同試験に参加するべく準備中です。

中枢神経カテゴリー

（国内）

- ・抗てんかん剤「トピナ」の新剤形（細粒剤）追加の承認を1月に取得しました。

バイオケミカル事業

バイオケミカル事業の売上高は、235億円（前年同期比18.0%増）となり、営業利益は30億円（同106.1%増）となりました。

（国内）

- ◎ 医薬・医療領域の売上高は前年同期を上回りました。
 - ・医薬・医療領域では、ジェネリック医薬品原薬が伸長しました。
- ◎ ヘルスケア領域の売上高は、飲料・食品用原料は前年同期並みでしたが、「オルニチン」をはじめとする通信販売事業は前年同期を上回りました。

（海外）

- ◎ 海外事業の売上高は、為替の円安進行もあり前年同期を上回りました。
 - ・米国では、サプリメント向けのアミノ酸の一部で競争が激化しましたが、前年同期を上回りました。
 - ・欧州では、輸液用アミノ酸等の一部製品で顧客の生産計画の影響から販売数量が前年同期を下回りましたが、為替の円安進行もあり売上高は前年同期を上回りました。
 - ・アジアでは、中国向けのアミノ酸・核酸関連物質の一部製品を先行出荷したため、前年同期を大幅に上回りました。

(2) 財政状態に関する説明

- ◎ 総資産は、前連結会計年度末に比べ292億円減少し、6,899億円となりました。
 - ・流動資産は、受取手形及び売掛金や棚卸資産等の増加がありましたが、資金運用としての親会社への短期貸付金等の減少により、前連結会計年度末に比べ284億円減少し、3,008億円となりました。
 - ・固定資産は、有形固定資産や投資その他の資産等の増加がありましたが、償却によるのれん及び販売権等の減少により、前連結会計年度末に比べ8億円減少し、3,890億円となりました。
- ◎ 負債は、未払金や未払法人税等の減少に加えて、現金190億円の退職給付信託への拠出に伴う退職給付引当金の大幅な減少により、前連結会計年度末に比べ253億円減少し、984億円となりました。
- ◎ 純資産は、四半期純利益の計上がありましたが、配当金の支払いや為替換算調整勘定等の減少により、前連結会計年度末に比べ39億円減少し、5,914億円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ3.1ポイント上昇し、85.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年1月31日に公表した連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,190	17,236
受取手形及び売掛金	98,602	102,987
商品及び製品	50,863	52,136
仕掛品	13,465	15,111
原材料及び貯蔵品	11,371	11,730
繰延税金資産	10,409	10,208
短期貸付金	113,133	85,159
その他	11,780	6,737
貸倒引当金	△497	△409
流動資産合計	329,320	300,898
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	132,861	132,807
減価償却累計額	△90,637	△91,454
建物及び構築物（純額）	42,223	41,353
機械装置及び運搬具	146,935	148,271
減価償却累計額	△125,860	△126,701
機械装置及び運搬具（純額）	21,075	21,569
土地	54,620	54,580
建設仮勘定	13,501	14,992
その他	47,795	48,389
減価償却累計額	△41,297	△41,456
その他（純額）	6,498	6,933
有形固定資産合計	137,919	139,428
無形固定資産		
のれん	163,713	161,688
販売権	46,519	44,354
その他	1,841	1,616
無形固定資産合計	212,073	207,659
投資その他の資産		
投資有価証券	24,602	23,445
繰延税金資産	3,893	3,938
その他	11,638	14,773
貸倒引当金	△191	△182
投資その他の資産合計	39,942	41,974
固定資産合計	389,936	389,063
資産合計	719,257	689,961

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,589	26,037
短期借入金	6,207	4,835
未払金	36,519	27,364
未払法人税等	10,483	5,476
売上割戻引当金	1,217	1,276
ポイント引当金	254	265
賞与引当金	342	3,973
その他	7,462	7,531
流動負債合計	85,076	76,760
固定負債		
繰延税金負債	11,807	11,367
退職給付引当金	19,196	2,660
役員退職慰労引当金	134	126
環境対策引当金	266	224
工場再編損失引当金	3,390	3,390
資産除去債務	374	355
その他	3,597	3,595
固定負債合計	38,765	21,720
負債合計	123,841	98,480
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,745	26,745
資本剰余金	512,328	512,326
利益剰余金	65,888	65,379
自己株式	△26,632	△26,596
株主資本合計	578,329	577,854
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,414	1,206
為替換算調整勘定	14,214	12,141
その他の包括利益累計額合計	15,628	13,348
新株予約権	306	277
少数株主持分	1,150	—
純資産合計	595,415	591,481
負債純資産合計	719,257	689,961

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	86,669	86,079
売上原価	34,309	34,787
売上総利益	52,360	51,292
販売費及び一般管理費		
研究開発費	10,629	10,353
のれん償却額	2,858	3,050
その他	24,406	25,442
販売費及び一般管理費合計	37,895	38,845
営業利益	14,465	12,447
営業外収益		
受取利息	180	198
受取配当金	65	91
為替差益	222	—
デリバティブ評価益	396	511
その他	180	204
営業外収益合計	1,043	1,006
営業外費用		
支払利息	64	59
為替差損	—	734
持分法による投資損失	301	437
固定資産処分損	86	66
その他	219	91
営業外費用合計	672	1,390
経常利益	14,836	12,063
特別利益		
受取保険金	—	308
関係会社株式売却益	2,758	—
投資有価証券売却益	660	—
固定資産売却益	400	—
特別利益合計	3,819	308
税金等調整前四半期純利益	18,656	12,371
法人税等	8,158	6,038
少数株主損益調整前四半期純利益	10,498	6,332
少数株主利益	8	—
四半期純利益	10,489	6,332

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	10,498	6,332
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,240	△207
為替換算調整勘定	4,064	△2,291
その他の包括利益合計	6,304	△2,498
四半期包括利益	16,802	3,833
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,707	3,833
少数株主に係る四半期包括利益	94	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	医薬	バイオ ケミカル	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	67,070	19,599	86,669	—	86,669
セグメント間の内部売上高	352	398	750	△750	—
計	67,422	19,997	87,420	△750	86,669
セグメント利益	13,061	1,480	14,541	△76	14,465

注1. セグメント利益の調整額△76百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	医薬	バイオ ケミカル	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	62,885	23,193	86,079	—	86,079
セグメント間の内部売上高	296	395	692	△692	—
計	63,182	23,589	86,771	△692	86,079
セグメント利益	9,437	3,052	12,490	△43	12,447

注1. セグメント利益の調整額△43百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。